

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 59  
R4. 11.10  
(文責: 校長 菅家 篤)

## “ダメな子”なんて一人だっていない

“ダメな子”とか、“わるい子”なんて子どもは、  
ひとりだっていないのです。

もし、そんなレッテルのついた子どもがいるとしたら、  
それはもう、その子たちをそんなふうに見ることしかできない  
大人たちの精神が貧しいのだ、  
と、きっぱり言うことができます。

手塚治虫（漫画家）著『ガラスの地球を救え』光文社 から

私も若いころ、自分の思うようにコトが進まないと、苛立って子どもにきつくあたってしまうことがありました。

「なにやってるんだ」  
「何回、言えばわかるんだ」

後味の悪さを知っているのにもかかわらず、  
言葉は止まりません。そんな時、まだまだ自分は  
「精神が貧しいな・・・」と、自己嫌悪になります。



そんな時、上記の手塚治虫の言葉を思い出して反省します。  
“ダメな子”なんて一人もいない！  
子どもたちの前で堂々と言える教師であり、大人でありたいものです。  
態度で、実践で、それを示せるように努力していきたいと思います。

緊張の面持ちで校長室の扉を開け、英語の暗唱チャレンジに来る子がいます。失敗した後、「一緒に練習しよう」「必ずできるようになるから」と声をかけ、練習に付き合います。難しいと思っていた英語の暗唱ができたとき、子どもたちは最高の笑顔を見せてくれます。私にとっても最高に嬉しい瞬間です。（校長雑感）

### 英語特別課題「イマジン」

## 暗唱成功!



最近、低学年の挑戦者が増えています。  
そして、なんと1年生の合格者も！！  
チャレンジ精神が素晴らしいですね！

